


2009年7月1日

報道関係者各位

アボット ジャパン株式会社
マルホ株式会社
日東電工株式会社

**世界で初めての貼付型の長時間作用性気管支拡張剤
「ホクナリン®テープ」(ツロブテロール貼付剤)(テープ表面)に
「肺のイメージ図」を表示**

この度、アボット ジャパン株式会社(医薬品事業部本社:東京都港区、代表取締役社長:グレン・エス・ワーナー)と日東電工株式会社(本社:大阪府、取締役社長:柳楽幸雄)が共同開発し、アボット ジャパン株式会社とマルホ株式会社(本社:大阪府、代表取締役社長:高木幸一)が共同販売している、気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎および肺気腫にともなう気道閉塞性障害治療のための貼付型の長時間作用性 β_2 刺激薬「ホクナリン®テープ」(一般名:ツロブテロール)の(テープ表面)に、「肺のイメージ図: 」を表示いたしましたのでご連絡申し上げます(写真参照)。

昨今、利便性及びアドヒアランスの高さから、種々の疾患治療薬の剤型として貼付製剤が増加しています。現在、ホクナリン®テープの(表面)には「ホクナリン」とのみ表示されておりますが、「肺のイメージ図」を表示することにより、貼付しているテープ剤が呼吸器疾患の治療に使われている薬であることを、患者さんのみならず、そのご家族、医療関係者にも認識していただけることになり、従来にも増して医療過誤の防止につながることを期待したものです。

アボット ジャパン株式会社、マルホ株式会社および日東電工株式会社では、発売以来、患者さんの声を大切にし、かつ、医療過誤の防止に配慮して、継続的に改良を重ねてきました。今回の改良がホクナリン®テープを使用されている患者さんや医療関係者のお役に立つことを期待しております。それと同時に、今後とも患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、お役に立てる改良を続けていきます。

製品写真



表示変更に伴う患者さんへのご案内方法

- ① 医師や薬剤師等の医療関係者から患者さんへの表示変更の案内として、「お知らせシート」を製品に添付いたします。
- ② 医療関係者から患者さんへの説明用の「新旧表示比較表」を医師や薬剤師等に配付いたします。
- ③ 医療関係者から患者さんへお渡しする「ホクナリン®テープ使用の貼り方指導箋」のホクナリン®テープの絵図を「肺のイメージ図」の入ったものに変更いたします。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

○アボット ジャパン株式会社

医薬品事業部 広報部

TEL:03-4588-4602

○マルホ株式会社

広報部

TEL:06-6371-8831

○日東電工株式会社

コーポレートコミュニケーション部

TEL:06-6452-2215

なお、このプレスリリースは、本町記者会、重工業研究会、大阪化学工業記者クラブ、道修町薬業記者クラブ、大阪機械記者クラブにも配付いたしております。重複のむきございましたら、予めご容赦の程お願い申し上げます。

<参考資料>

○「ホクナリン®テープ」について

ホクナリン®テープとは、日東電工株式会社とアボット ジャパン株式会社(但し、開発及び発売当時の名称は北陸製薬株式会社)により共同開発された世界で初めての貼付型の長時間作用性 β_2 刺激薬であり、1998年12月にマルホ株式会社とアボット ジャパン株式会社により共同発売されました。有効成分はツロブテロールで、当該有効成分は北陸製薬株式会社で開発されたものです。本製剤の作用持続時間は24時間です。承認の効能・効果は「気管支喘息、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫の気道閉塞性障害に基づく呼吸困難など諸症状の緩解」で、1日1回、胸部、背部又は上腕部のいずれかに貼付します。ホクナリン®テープは、1998年度科学技術庁長官賞、2001年度創薬科学賞を受賞し、喘息およびCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の治療ガイドラインに、長時間作用性気管支拡張剤として記載されています。

○「アボット社」について

米国イリノイ州シカゴに本拠を置くアボットは、広範囲のヘルスケアに基盤を置く世界的規模の会社であり、グループ総従業員数72,000人を擁し、世界130カ国で営業活動を行っています。その事業内容は医療用医薬品、栄養剤、医療機器、診断用医薬品、分析機器の分野における研究・開発、製造、マーケティングそして販売と多岐にわたっています。

日本国内では、従業員約2,000人が医療用医薬品、栄養剤、医療機器、診断用医薬品、分析機器の製造開発、ならびに販売とマーケティングに従事しており、東京、福井、千葉に拠点を置いています。アボット ジャパンのプレスリリースは、www.abbott.co.jp、アボット本社のプレスリリースは、www.abbott.com をご参照ください。

○「マルホ株式会社」について

大阪市北区に本社を置くマルホは、医療用医薬品の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。

人類の健康に対して質の高い貢献を行うことを企業使命に掲げ、長期ビジョン「皮膚科学関連医薬品のブティック・カンパニー」を目指して、皮膚科学領域の製品拡充を図っております。皮膚科学関連医薬品とは、軟膏をはじめとする直接皮膚を治療する医薬品と、ホクナリン®テープなどのテープ剤をはじめとする皮膚を通して身体を治療する医薬品のことを示します。

従業員は約1,000名、京都市に研究開発拠点、彦根市に生産拠点を配しています。

○「日東電工株式会社」について

日東電工は、粘着技術や塗工技術などの固有の基盤技術をベースに各種の先端技術を複合化することにより、シートやフィルム状のものに様々な機能を付加し、液晶用光学フィルムや自動車用部品、海水淡水化膜や経皮吸収型テープ製剤など様々な製品を生み出しています。

同社は本社を大阪市に置き、グループ従業員は約28,000人、110社を超えるグループ会社を有し、グローバルに製品を提供しています。